
編集後記

今年の8月22日～27日に中国北京市コンベンションセンターで開催された18th International Vacuum Congress (IVC-18)に招待講演のため参加しました。IVC-18は参加人員が2000名以上の大きな国際学会で、初日のPlenary Talkと毎日のLectureは部屋に入りきれないほど大盛況でした。また、今年は5th International Symposium on Practical Surface Analysis (PSA-10)が10月3日～7日に韓国慶州市で開催され、参加人員が初めて200名を越えました(50%が韓国の参加者)。国際化の流れとともにアジアの時代を感じております。

ところで、最近では材料別に分類された学会が多くなり、表面分析技術に関する議論の場が少なくなっていると感じています。その中でも、今年で設立15周年の表面分析研究会(SASJ)の会誌JSAは、分析装置の基礎原理、新しい測定手法の提案、原著論文等、表面分析技術に有益な情報を発信しており、海外の諸先生方も購読されています。今後も、将来の日本の表面分析技術を担っていく若手の方々の国際的な活躍の場となり、日本の表面分析技術の発展に役立てれば幸いに存じます。(岩井)

JSA Journal of Surface Analysis

JSA 編集委員会 jsa@sasj.jp Tel: 045-963-3139 Fax: 045-963-4728

編集委員長：阿部芳巳(三菱化学科学技術研究センター)

副編集委員長：吉川英樹(物質・材料研究機構)

編集理事：佐藤美知子(富士通クオリティ・ラボ)

編集委員：井上雅彦(摂南大学)、岩井秀夫(物質・材料研究機構)、大友晋哉(古河電気工業)、木村昌弘(日鉱金属)、境悠治(物質・材料研究機構)、眞田則明(アルバック・ファイ)、鈴木昇(宇都宮大学)、鈴木峰晴(アルバック・ファイ)、高橋和裕(島津製作所)、田沼繁夫(物質・材料研究機構)、中村誠(富士通研究所)、永富隆清(大阪大学)、水谷五郎(北陸先端科学技術大学院大学)

SASJ: International Advisory Board

J. T. Grant (University of Dayton, USA)

H. J. Kang (Chungbuk National University, Korea)

S. Hofmann (Max-Planck-Institute for Metals Research, Germany)

A. Jablonski (Institute of Physical Chemistry, Poland)

C. J. Powell (National Institute of Standards and Technology, USA)

M. P. Seah (National Physical Laboratory, UK)

Y. C. Ling (National Tsing Hua University, Taiwan)

Journal of Surface Analysis Vol. 17, No.2

編集・発行：一般社団法人表面分析研究会

<http://www.sasj.jp/>

2010年12月20日 印刷

2010年12月22日 発行

発行所：〒108-0074 東京都港区高輪3-6-7

一般社団法人表面分析研究会

電話：03-3473-6878 FAX：03-3473-6862

Printed: Dec 20, 2010

Published: Dec 22, 2010

Published by

The Surface Analysis Society of Japan

Takanawa 3-6-7, Minato-ku, Tokyo 108-0074

Tel: +81-3-3473-6878 Fax: +81-3-3473-6862